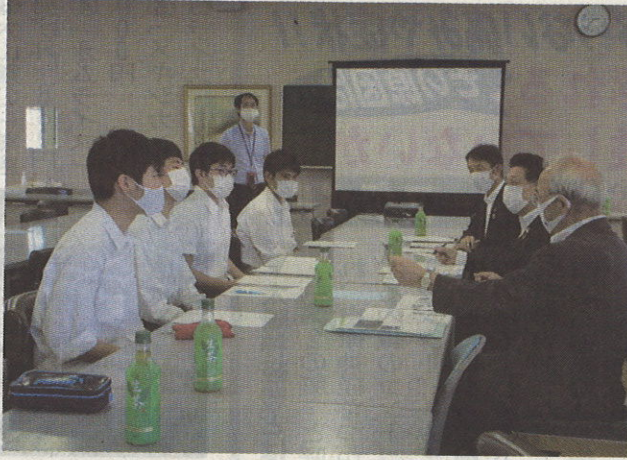


市議会議員と高校生が意見交換 佐野高校で佐野市議会訪問型議会報告会

【佐野】高校生たちの提案に真剣な表情で耳を傾ける市議会議員たち。意見交換では、時に和やかに、時には熱弁を振るう場面が見られた。

佐野市議会による訪問型議会報告会が、7



積極的に意見を交わす

月11日、県立佐野高校で開かれ、議員12人、生徒18人が参加した。

開かれた市議会を指す佐野市議会は、これまで報告会を積極的に実施してきたが、今回初めて市内の高校を訪問、高校生たちの意見

交換会などを行った。

佐野高校は、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成を重点的に行うスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を文科省から受けている。

この日は、まず、議会報告会運営委員会の井川克彦委員長が、市議会の仕組みや権限、議会の流れなどについて説明。そのあとは、SGHグループのクリケット、多言語メニュー、魚粉、キャンプの4班



生徒が研究成果を発表・提案

に分かれての分科会。各班が1年間調査・研究してきた成果を発表し、それに基づいたまち作り、活性化の提案をした。どの班でも、生徒と議員が活発に意見を出しあい、互いに実りある議論が展開されていた。

報告会終了後、参加した山崎理紗さん(2年・キャンプ)は「自分たちが1年間仲間たちと頑張ってきた研究の結果を議員の皆さんの前で発表できて達成感でいっぱいです。話し合いの中では新しい視点の意見も出て、アドバ

イスもいただきました。研究がより深く考えられるようになって貴重な体験でした」と話す。また、クリケット班で、駅からクリケット場までの交通手段などの提案をした店網奉吾さん(3年)は「中学3年生から3年間取り組んできた研究を発表できてうれしかったです。クリケット選手と中高生の交流がもっと図れる

に分かれての分科会。各班が1年間調査・研究してきた成果を発表し、それに基づいたまち作り、活性化の提案をした。どの班でも、生徒と議員が活発に意見を出しあい、互いに実りある議論が展開されていた。



議員が議会の仕組み等を説明



といいですね。提案をきちんと聞いてもらえて、助言もいただけて、自分たちがさらに情報発信できればと感じました」と語った。

報告会委員長の井川さんも「高校生たちが考えたまちづくりのための研究を聞くことは、なかなかできない貴重な機会です。私たち議員にとっても、参考になることも多かった。有意義な時間でした」と感想を話していた。